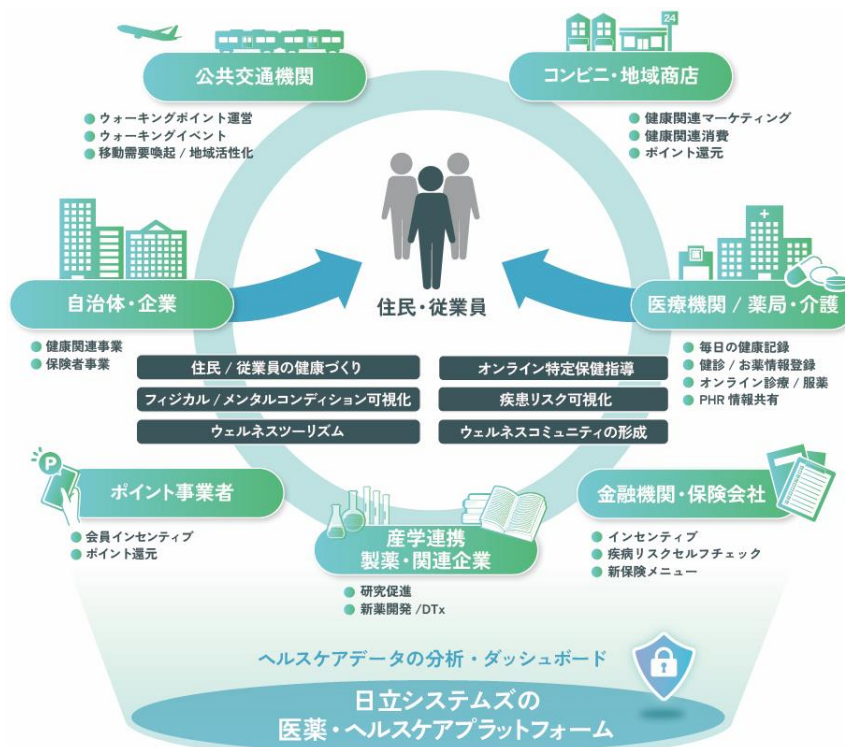


2023年7月27日
株式会社日立システムズ
株式会社インテグリティ・ヘルスケア
ANA X 株式会社
サワイグループホールディングス株式会社

ウェルビーイングの推進を目的に健康、医療サポート、ウェルネスツーリズムの分野で 日立システムズ、インテグリティ・ヘルスケア、ANA X、サワイグループホールディングスが 日本ウェルビーイングコンソーシアムを設立 健康経営の支援と地域創生をテーマに提案を開始

株式会社日立システムズ（代表取締役 取締役社長：柴原 節男、本社：東京都品川区／以下、日立システムズ）、株式会社インテグリティ・ヘルスケア（代表取締役会長：武藤 真祐、代表取締役社長：園田 愛、本社：東京都中央区／以下、インテグリティ・ヘルスケア）、ANA X 株式会社（代表取締役社長：轟木 一博、本社：東京都中央区／以下、ANA X）、サワイグループホールディングス株式会社（代表取締役社長：澤井 光郎、本社：大阪市淀川区／以下、サワイグループホールディングス）は、日本ウェルビーイングコンソーシアムを設立します。

これにより、住民が健康なまちづくり、従業員が健康な企業づくり、医療サポート、ウェルネスツーリズムを推進し、自治体、健康保険組合、企業等に提案をしていきます。



日本ウェルビーイングコンソーシアム概要図

■各社のアプリケーションについて

	← ポイント活用	ポピュレーションアプローチ	ハイリスクアプローチ →	
アプリケーション	ANA Pocket	健康支援サービス(健康経営)	SaluDi/Smart One Health	健康支援サービス(MIRAMED)
提供元	ANA X株式会社	株式会社日立システムズ	沢井製薬株式会社 株式会社インテグリティ・ヘルスケア	株式会社日立システムズ
主な機能	・移動、チャレンジによりポイントが貯まる ・ポイントでANAマイルやクーポン券に交換	・歩数・中強度運動、睡眠時間、気分、食事のセルフケア ・組織の分析レポート	・日々のバイタルや生活を記録することにより、健康を管理 ・日々の生活記録（カロリー収支、歩数、食事、服薬など）の記録	・健康診断結果とアンケートから生活習慣関連疾患のリスクを表示 ・遠隔面談やチャット機能による保健指導の実施
特長	・移動手段は徒歩・自転車・電車・自動車・新幹線・飛行機など移動でポイントが貯まる ・ポイントはクーポン券への交換、ガチャでマイルへの交換やギフト券や抽選券が当たる	・健康経営／健康増進の施策で従業員／住民のセルフケアをサポート ・会社／自治体側では、組織のコンディションが確認できる	・日々のバイタルや生活記録をさまざまな機器と自動連携させることで簡単に記録することができる ・バイタル、生活記録、服薬状況、検査データなどをご本人の同意のもとで医療従事者（医師、薬剤師など）と共有でき、治療・服薬指導に活用可能	・メタボリックシンドロームの対象者のセルフケアと保健師が並走して遠隔指導ができる ・チャレンジ設定で行動変容をサポート ・日々の行動の可視化と結果に合わせたレコメンド機能
価格	基本機能は無料	有料	基本機能は無料	有料
画面イメージ				

※すべてのアプリケーションを導入いただく必要はありません。用途によって選択した組み合わせでウェルビーイングを実現します。

■背景

わが国では、平均寿命と健康寿命のギャップにより、国が負担する医療費の増大などが課題になっています。こうした状況を受け、政府は、国民一人ひとりの健康寿命を延伸させるため、予防、健診・検査、診断、治療といった医療提供のサイクルで切れ目のない連携体制を整備し、一次・二次・三次予防の網を張り巡らせようと取り組んでいます。

しかし、現状では、各サイクルに対する個別サービスは存在するものの、複数のサイクルをまたいだサービスや、保険者、健診・医療機関など複数の事業者に対応するサービス、また、それらから得た医療情報を一元的に管理し、包括的に提供できるサービスは限られている状況です。

■日本ウェルビーイングコンソーシアムの概要

日立システムズは、要配慮個人情報である医療情報を安心安全に運用できる 3 省 2 ガイドラインに対応したアマゾン ウェブ サービス (AWS) が提供するクラウドサービスのプラットフォームと PHR^{*1} 情報を格納できる PHR 基盤を提供しています。

このプラットフォーム上で、PHR 管理システム「Smart One Health」(インテグリティ・ヘルスケア)、PHR 管理アプリケーション「SaluDi^{*2}」(サワイグループホールディングス)、モバイルアプリケーションサービス「ANA Pocket^{*3}」(ANA X)、「健康支援サービス (健康経営)」および「健康支援サービス (MIRAMED)^{*4}」(日立システムズ)のサービスを提供します。

日本ウェルビーイングコンソーシアムでは、PHR 基盤と各社のアプリケーションを組み合わせ、ポイントなどのインセンティブなども取り入れた形で自治体、健康保険組合、企業に対して健康経営や健康増進など、QoL 向上のための行動変容をテーマにしたウェルビーイングの支援を実施していきます。まずはファーストステップとして、健康なまちづくり、観光の誘致、また移動先でのヘルスケアサービスの提案をまいります。

*1 PHR(Personal Health Record)：個人の健康診断結果、服薬履歴、日常生活でのバイタルデータ等の保健医療情報。

*2 SaluDi は、情報を備えた常備薬＝「情備薬」として、いつもあなたの傍に常備して欲しいとの思いを込めて開発・提供しております。

*3 ANA Pocket は、航空移動だけでなく、徒歩・自転車・電車・モノレール・新幹線・自動車・フェリー等のすべての移動に対してポイント・ANA マイルが貯まるモバイルアプリケーションサービスです。

*4 「MIRAMED[®]」は、東京大学 COI が開発した「AI を活用して将来の生活習慣関連疾患のリスクを「見える化」し、動機付けを促す各種機能により対象者の行動変容と健康増進をサポートする健康支援サービス」です。2021 年 11 月に日立システムズより、遠隔特定保健指導のサービス提供が可能となりました。

■今後の計画

日本ウェルビーイングコンソーシアムは賛同いただける企業、団体、アカデミアとの連携先を増やし、ウェルビーイングで実現できる範囲を拡げていきます。本取り組みで得られるデータの分析により、各サービスの機能のアップデートを行い、エビデンスに基づいた「健康～未病～特定保健指導～受診勧奨までのワンストップサービス」の提供を強化していきます。また、日本のどこに居ても日々のバイタルデータを医師・薬剤師に共有しながら医療サービスが受けられる体制を築き上げていきます。

日本ウェルビーイングコンソーシアムでは、医薬・ヘルスケアプラットフォーム上にパートナーとの連携を含めた各種サービスを組み合わせることでエコシステムを構築し、Snowflake との協業によるデータ分析サービスなども活用することでウェルビーイングにつながるサービス範囲の拡大をめざしています。今後、賛同いただける企業、団体、アカデミアなどの連携先を拡大していきます。

■関連するニュースリリース・お知らせについて

東大 COI が開発した AI エンジンを活用し、「医療 DX」で生活習慣関連疾患対策 特定保健指導を支援する「健康支援サービス (MIRAMED)」を提供開始

<https://www.hitachi-systems.com/news/2021/20211101.html>

医薬・ヘルスケア領域における中期事業戦略を発表

<https://www.hitachi-systems.com/news/2021/20210818.html>

日立システムズとインテグリティ・ヘルスケアが医療・ヘルスケア分野で提携

<https://www.hitachi-systems.com/news/2021/20210426.html>

インテグリティ・ヘルスケア社との PHR 事業協業開始のお知らせ

<https://www.sawaigroup.holdings/release/detail/5>

■アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社 パブリックセクター パートナーアライアンス執行役員 大場 章 弘 様のコメント

私たちアマゾン ウェブ サービス (AWS^{*5}) は株式会社日立システムズ、株式会社インテグリティ・ヘルスケア、ANA X 株式会社、サワイグループホールディングス株式会社の 4 社による日本ウェルビーイングコンソーシアム設立を歓迎いたします。3 省 2 ガイドラインに準拠した堅ろうなヘルスケアプラットフォームとして、各社のアプリケーションやソリューションの利活用データと PHR 情報を AWS 上でデータ連携することで、医療 DX を実現し、健康経営の支援と地域創生に共に貢献できることを大変うれしく思っております。

*5 AWS は、2006 年に他社に先駆けてサービスを開始して以来、世界で最も包括的かつ幅広く採用されたクラウドサービス。コンピューティング、ストレージ、データベース、ネットワーク、分析、機械学習および人工知能 (AI)、モノのインターネット (IoT)、モバイル、セキュリティ、ハイブリッド、仮想現実 (VR) および拡張現実 (AR)、メディア、ならびにアプリケーション開発、展開および管理に関する 200 種類以上のフル機能のサービスを提供しています。

■Snowflake 株式会社 執行役員 パートナー営業本部長 渡辺 浩志 様のコメント

Snowflake^{*6} は株式会社日立システムズ、株式会社インテグリティ・ヘルスケア、ANA X 株式会社、サワイグループホールディングス株式会社の 4 社による日本ウェルビーイングコンソーシアム設立を歓迎いたします。

Snowflake は、日本ウェルビーイングコンソーシアムの取り組みに賛同する企業、アカデミア、団体のデータを安全に共有し統合・分析可能なデータ共有のプラットフォームを提供することで、住民が健康なまちづくり、従業員が健康な企業づくり、医療サポート、ウェルネスツーリズムの推進を支援してまいります。

*6 Snowflake は、Snowflake のデータクラウドを用い、あらゆる組織が自らのデータを活用できるようにします。顧客企業はデータクラウドを利用してサイロ化されたデータを統合し、データを検索して安全に共有しながら、さまざまな分析ワークロードを実行しています。データやユーザーがどこに存在するかに関係なく、Snowflake は複数のクラウドと地域にまたがり単一のデータ体験を提供します。

■日立システムズについて

株式会社日立システムズは、幅広い規模・業種システムの構築と、データセンター、ネットワークやセキュリティの運用・監視センター、コンタクトセンター、全国約 300 か所のサービス拠点などの多彩なサービスインフラを生かしたシステム運用・監視・保守が強みの IT サービス企業です。多彩な「人材」と先進の情報技術を組み合わせた独自のサービスによってお客さまのデジタルライゼーションに貢献し、新たな価値創造に共に取り組み、お客さまからすべてを任せていただけるグローバルサービスカンパニーをめざします。

詳細は <https://www.hitachi-systems.com/> をご覧ください。

■インテグリティ・ヘルスケアについて

株式会社インテグリティ・ヘルスケアは、人とテクノロジーの融合で、医療の未来をつくることを目指したメディカルテック企業です。「2030 年までに、個別化された医療と情報が適切に届き、人々が主体的に考え、行動を起こしていく世界を作る」をミッションに掲げ、ICT の先端技術と医療ノウハウを組み合わせ、医師と患者の双方向のコミュニケ

ーションを深めながら一層の診療の質の向上に寄与する疾患管理システム YaDoc、オンライン診療システム YaDoc Quick、PHR 管理システム Smart One Health の開発・提供、DCT（Decentralized Clinical Trial:分散型臨床試験）事業に取り組んでいます。

詳細は <https://www.integrity-healthcare.co.jp> をご覧ください。

■ANA X について

ANA X 株式会社は、ANA グループのプラットフォーム事業会社です。

航空・旅行事業をはじめ、ANA カードに代表されるライフサービス事業を通じて培った顧客基盤を土台に、お客様の人生を豊かにするサービスを創造し、人の移動を通じて地域・社会課題の解決にも貢献していくことを目指して取り組んでいます。

日常でもマイルを貯めて使える機会を拡げるために、ANA グループの各種サービスの入り口となるゲートアプリ「ANA マイレージクラブアプリ」、インターネットショッピングモール「ANA Mall」、モバイル決済サービス「ANA Pay」、日々の移動でポイントが貯まるモバイルアプリサービス「ANA Pocket」などの商品・サービスを展開しています。

詳細は <https://www.ana-x.co.jp/> をご覧ください。

■サワイグループホールディングスについて

サワイグループホールディングス株式会社は、「なによりも健やかな暮らしのために」という企業理念のもと、社会と共に持続的に発展するヘルスケア企業グループをめざしています。より多くの人々が社会の中で安心して生き活きと暮らせる世界を創るため、中核事業であるジェネリック医薬品の製造・販売のほか、新規事業を通じて健康寿命の延伸にも貢献してまいります。

詳細は <https://www.sawaigroup.holdings/> をご覧ください。

■お客さまからのお問い合わせ先

株式会社日立システムズ お問い合わせ Web フォーム

<https://www.hitachi-systems.com/form/contactus.html>

以上

*記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。